

# -令和4年度決算の概要-

(注)千円以下を四捨五入しているため合計欄(実際の金額)の数値と一致しないことがあります。

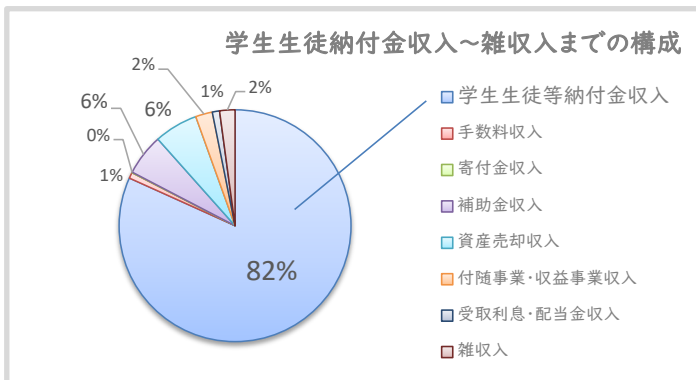
## ● 資金収支計算書

### [収入の部]

(単位:万円)

本年単年度の資金収入(A)は、23億8,357万円で、前年度と比較し9,775万円の増加となりました。

主な要因は、学生生徒納付金収入が微増、有価証券の償還・売却による資産運用収入を計上していますが、再度、運用規程に基づいた資産運用を行い、支出の部にも計上しています。(資産運用支出)その他の収入は、前年度からの精算勘定等で増加となりました。また次年度入学予定者から納入される前受金は、減少しました。



科目	決算	前年度比
学生生徒等納付金収入	195,837	928
手数料収入	1,972	△ 246
寄付金収入	200	8
補助金収入	13,825	△ 251
資産売却収入	14,576	14,576
付随事業・収益事業収入	5,623	△ 1,007
受取利息・配当金収入	2,434	89
雑収入	5,122	△ 192
前受金収入	38,194	△ 3,786
その他の収入	5,832	1,581
資金収入調整勘定	△ 45,257	△ 1,925
<b>資金収入(A)</b>	<b>238,357</b>	<b>9,775</b>
前年度繰越支払資金	296,879	18,829
<b>収入の部 合計</b>	<b>535,237</b>	<b>28,604</b>

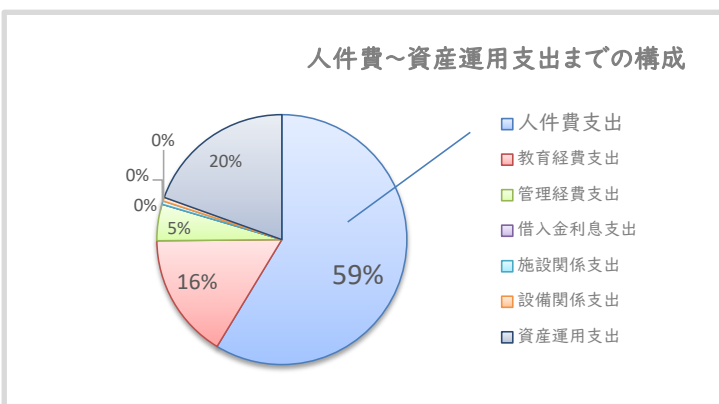
### [支出の部]

(単位:万円)

本年単年度の資金支出(B)は、25億3,666万円で、前年度と比較し4億3,912万円の増加となりました。

主な要因は、教育研究経費支出で、その他、管理経費支出や資産運用支出が増加しました。また、人件費支出や施設関係や設備関係支出が減少となりました。

単年度収支差額は(A)-(B)の△1億5,309万円となりましたが、資産運用支出の一部は、固定資産に振り替わりました。



科目	決算	前年度比
人件費支出	151,234	△ 2,763
教育経費支出	41,715	6,764
管理経費支出	12,156	998
借入金利息支出	0	0
施設関係支出	1,127	△ 2,850
設備関係支出	1,236	△ 2,914
資産運用支出	50,290	46,871
その他の支出	10,184	3,405
資金支出調整勘定	△ 14,276	△ 5,599
<b>資金支出(B)</b>	<b>253,666</b>	<b>43,912</b>
翌年度繰越支払資金	281,571	△ 15,309
<b>支出の部 合計</b>	<b>535,237</b>	<b>28,604</b>
<b>単年度収支差額(A)-(B)</b>	<b>△ 15,309</b>	<b>△ 34,138</b>

(単位:万円)

『活動区分資金収支計算書』の結果(各区分の調整勘定は除く)です。「教育活動収支」はプラス、「設備整備等活動収支」はマイナスの結果となりましたが、当年度の教育活動から生じた収支で施設設備資金をどの程度賄っているのかが小計で見ることができ、この数値がプラスのため、従前どおり、自己資金で施設設備に必要な資金を充当できたことが分かります。

また、『その他の活動収支』は、精算勘定等によりマイナスとなっています。

活動区分	収入	支出	差異
教育活動	222,443	205,105	17,337
設備整備等活動	136	7,363	△ 7,227
小計 (教育+設備)	222,579	212,468	10,111
その他活動	17,891	45,506	△ 27,615

## ● 事業活動収支計算書

### [教育活動収支]

教育活動収支では、本業である教育活動に係る収支を表しています。

教育活動収入計は22億2,891万円、支出計は23億2,094万円となり収支差額は△9,203万円となりました。

この内、減価償却額が教育研究経費や管理経費の内で約2億5,000万円を計上し、人件費関係では、退職給与引当金(組入・取崩)約1,200万円が含まれています。

(単位:万円)

科目	決算	前年度比
学生生徒等納付金	195,837	928
手数料	1,972	△ 246
寄付金	200	2
経常費補助金	13,689	550
付随事業収入	5,623	△ 1,007
雑収入	5,571	△ 378
<b>教育活動収入計</b>	<b>222,891</b>	<b>△ 151</b>
人件費	152,872	△ 1,840
教育研究経費	65,495	7,229
管理経費	13,692	692
徴収不能額	35	35
<b>教育活動支出計</b>	<b>232,094</b>	<b>6,116</b>
<b>教育活動収支差額</b>	<b>△ 9,203</b>	<b>△ 6,268</b>

### [教育活動外収支・経常収支差額]

教育活動外収支では、財務活動(資金調達・資金運用等)に係る収支を表しています。

経常収支は、上記の教育活動と教育活動外の合算(臨時的な収支を除いた差額)し、学校の経常的な事業活動の状況を表しています。

教育活動外収入は2,434万円で、支出計は16万円、収支差額は2,417万円となりました。

また、経常収支差額は、教育活動収支の△9,203万円に教育活動外収支の2,417万円を加算した△6,785万円となりました。

(単位:万円)

科目	決算	前年度比
受取利息・配当金	2,434	89
その他の教育活動外収入	0	0
<b>教育活動外収入計</b>	<b>2,434</b>	<b>89</b>
借入金等利息	0	0
その他の教育活動外支出	16	16
<b>教育活動外支出計</b>	<b>16</b>	<b>16</b>
<b>教育活動外収支差額</b>	<b>2,417</b>	<b>73</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>△ 6,785</b>	<b>△ 6,194</b>

### [特別収支]

特別収支では、資産の売却処分等による差額や現物寄附、過年度修正等の一時的に発生した臨時的な収支を表しています。

特別収入計は557万円、支出計は1,471万円で、収支差額は△914万円となりました。

(単位:万円)

科目	決算	前年度比
資産売却差額	199	199
その他の特別収入	358	△ 645
<b>特別収入計</b>	<b>557</b>	<b>△ 446</b>
資産処分差額	1,471	1,253
その他の特別支出	0	0
<b>特別支出計</b>	<b>1,471</b>	<b>1,253</b>
<b>特別収支差額</b>	<b>△ 914</b>	<b>△ 1,700</b>

### [基本金組入・当年度収支差額ほか]

上記の結果、基本金組入前の当年度収支差額が△7,700万円本年度固定資産等の取得により算出された額等の基本金組入額△1,492万円を加算すると、当年度収支差額は△9,191万円となりました。

前年度繰越収支(令和3年度から繰越した収支差額)の△8億4,595万円を加算し、基本金取崩額503万円を加味した結果、翌年度繰越収支差額は△9億3,283万円となりました。

(単位:万円)

科目	決算	前年度比
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>△ 7,700</b>	<b>△ 7,894</b>
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△ 1,492</b>	<b>4,285</b>
<b>当年度収支差額</b>	<b>△ 9,191</b>	<b>△ 3,610</b>
<b>前年度繰越収支差額</b>	<b>△ 84,595</b>	<b>△ 5,582</b>
<b>基本金取崩額</b>	<b>503</b>	<b>503</b>
<b>翌年度繰越収支差額</b>	<b>△ 93,283</b>	<b>△ 8,688</b>

事業活動収入合計 22億5,882万円  
事業活動支出合計 23億3,581万円

## ● 貸借対照表

### [資産の部]

(単位:万円)

固定資産は117億6,472万円で、前年度より1億1,112万円増加しました。

増加の主な要因は、特定資産への繰入や長期性預金の運用で、減少は有形固定資産の取得・除却並びに減価償却によるものです。

流動資産は28億7,398万円で、前年度より1億5,995万円減少しましたが、一部は流動資産から固定資産に振り替わったことによります。

結果、今年度末の資産の部合計は146億3,871万円で前年度より4,883万円減少となりました。

科 目	本年度	前年度	差 異
<b>固定資産</b>	<b>1,176,472</b>	<b>1,165,360</b>	<b>11,112</b>
有形固定資産	1,027,754	1,050,686	△ 22,932
土地	609,079	609,079	0
建物(建物附属設備)	392,258	412,157	△ 19,899
構築物・機械装置	871	1,562	△ 691
教育研究用機器備品	11,018	13,243	△ 2,225
管理用機器備品	508	520	△ 12
図書	14,021	14,116	△ 95
車両	0	9	△ 9
特定資産	24,367	19,367	5,000
その他の固定資産	124,351	95,308	29,043
電話加入権	28	28	0
ソフトウェア	30	152	△ 122
長期性預金	30,000	0	30,000
有価証券	82,926	83,250	△ 325
その他	11,368	11,878	△ 510
<b>流動資産</b>	<b>287,398</b>	<b>303,393</b>	<b>△ 15,995</b>
現金預金	281,571	296,879	△ 15,309
その他	5,828	6,514	△ 686
<b>資産の部 合計</b>	<b>1,463,871</b>	<b>1,468,754</b>	<b>△ 4,883</b>

### [負債・純資産の部]

(単位:万円)

固定負債は1億3,172万円と、前年度より1,145万円増加しました。

主な要因は、退職給与引当金繰入や取崩しにより増加しました。また、流動負債は5億2,935万円と前年度より1,672万円増加し、未払金の増加、前受金の減少が要因となっています。

結果、負債の部合計は6億6,108万円で、前年度より2,816万円の増加となりました。

基本金は、第1号基本金への繰入れや取崩しの結果により増加しました。

繰越収支差額は△9億3,283万円となり、純資産の部の合計は139億7,763万円と前年度より7,700万円減少し、負債及び純資産の部合計は146億3,871万円と、前年度より4,883万円減少いたしました。

科 目	本年度	前年度	差 異
<b>固定負債</b>	<b>13,172</b>	<b>12,028</b>	<b>1,145</b>
長期未払金	51	103	△ 51
退職給与引当金	12,994	11,805	1,189
預り敷金	101	93	8
預り保証金	26	27	△ 1
<b>流動負債</b>	<b>52,935</b>	<b>51,264</b>	<b>1,672</b>
未払金	13,333	7,845	5,489
前受金	38,194	41,980	△ 3,786
預り金	1,408	1,439	△ 31
仮受金	0	0	0
<b>負債の部 合計</b>	<b>66,108</b>	<b>63,291</b>	<b>2,816</b>
第1号基本金	1,476,846	1,475,857	989
第4号基本金	14,200	14,200	0
<b>基本金計</b>	<b>1,491,046</b>	<b>1,490,057</b>	<b>989</b>
<b>繰越収支差額</b>	<b>△ 93,283</b>	<b>△ 84,595</b>	<b>△ 8,688</b>
<b>純資産の部合計</b>	<b>1,397,763</b>	<b>1,405,462</b>	<b>△ 7,700</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,463,871</b>	<b>1,468,754</b>	<b>△ 4,883</b>

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	有形固定資産 1,027,754	負債	固定負債 13,172 流動負債 52,935
	特定資産 24,367	自己資金	基本金 1,491,046
	その他の固定資産 124,351		
流動資産 287,398			繰越収支差額 △ 93,283